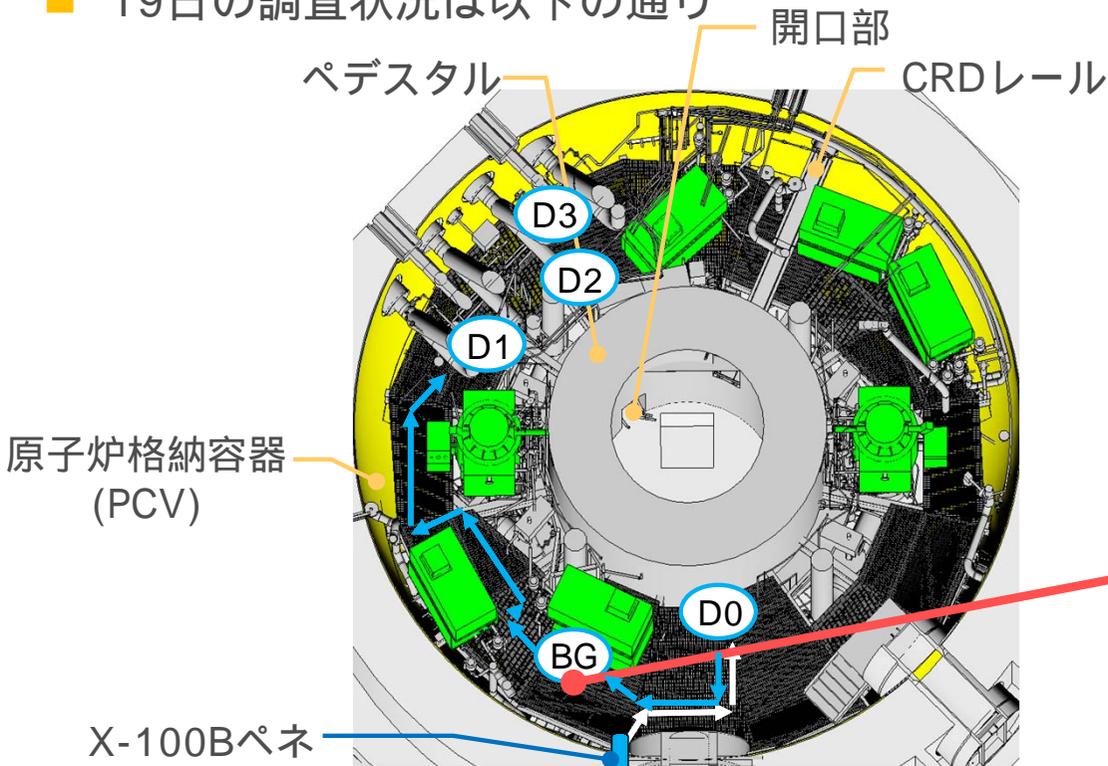


# 1.1号機 PCV内部調査進捗（19日調査速報） 1/2

< 参考資料 >  
2017年3月21日  
東京電力ホールディングス株式会社

■ 19日の調査状況は以下の通り



1階PCV断面図

→ 19日のアクセスルート

測定点	調査内容
D0	ドレンサンプルからの燃料デブリの拡散有無の推定
D1, D2	開口部からの燃料デブリの拡散有無の推定
D3	PCVシェルに燃料デブリが到達している可能性があるかの推定
BG	D0～D3の測定に対するバックグラウンドレベルの把握



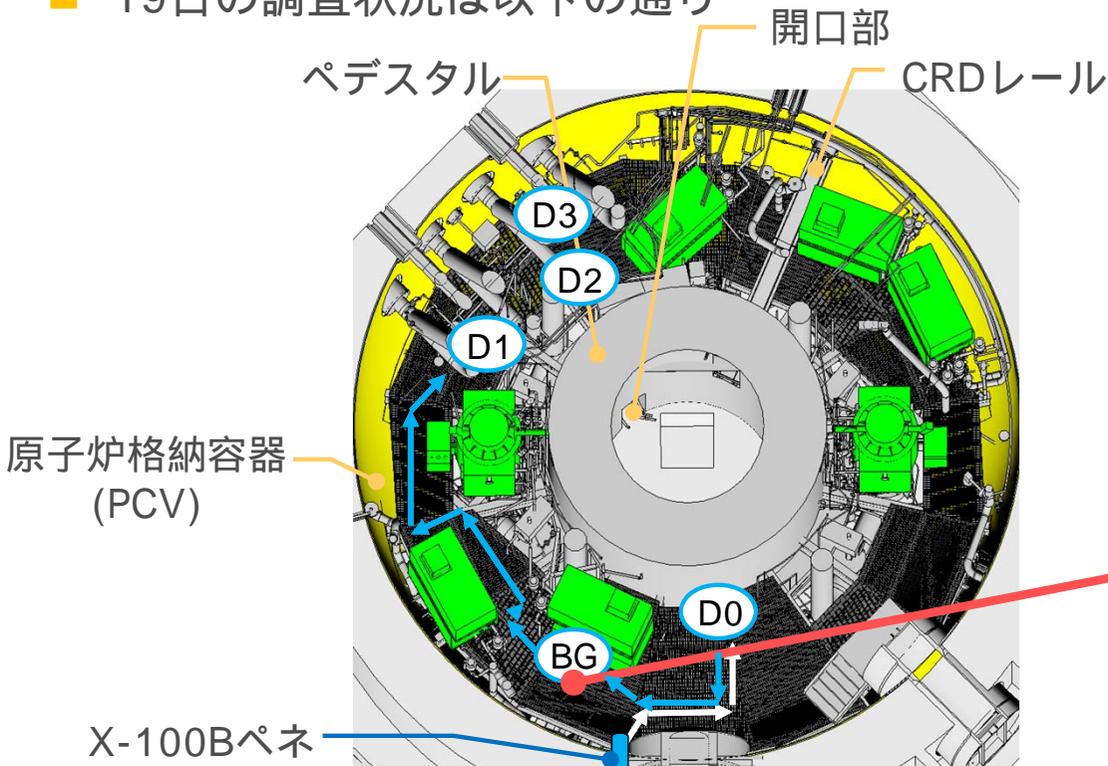
グレーチング上（調査装置 正面左側カメラ画像）



計測ユニットカメラ 水中投入直前

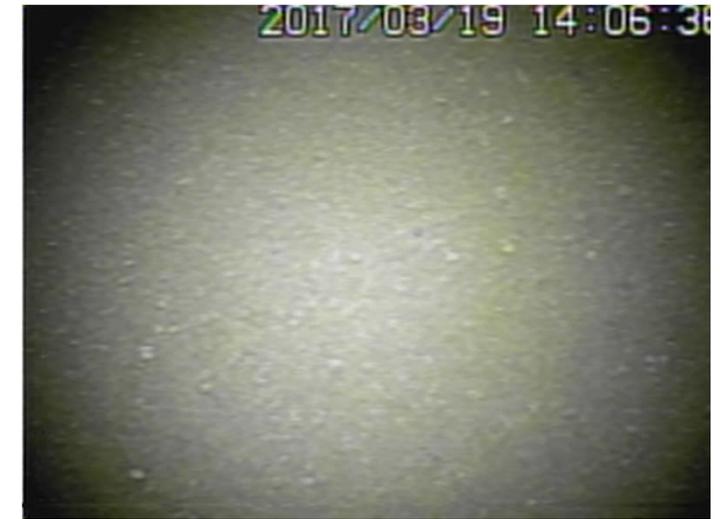
# 1.1号機 PCV内部調査進捗（19日調査速報） 2/2

■ 19日の調査状況は以下の通り

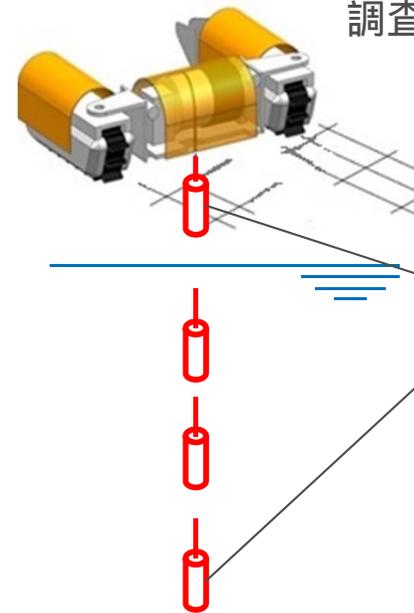


→ 19日のアクセスルート

測定点	調査内容
D0	ドレンサンプルからの燃料デブリの拡散有無の推定
D1, D2	開口部からの燃料デブリの拡散有無の推定
D3	PCVシェルに燃料デブリが到達している可能性があるかの推定
BG	D0～D3の測定に対するバックグラウンドレベルの把握



調査点BG水中画像



測定イメージ

調査点BGの線量  
(暫定値)

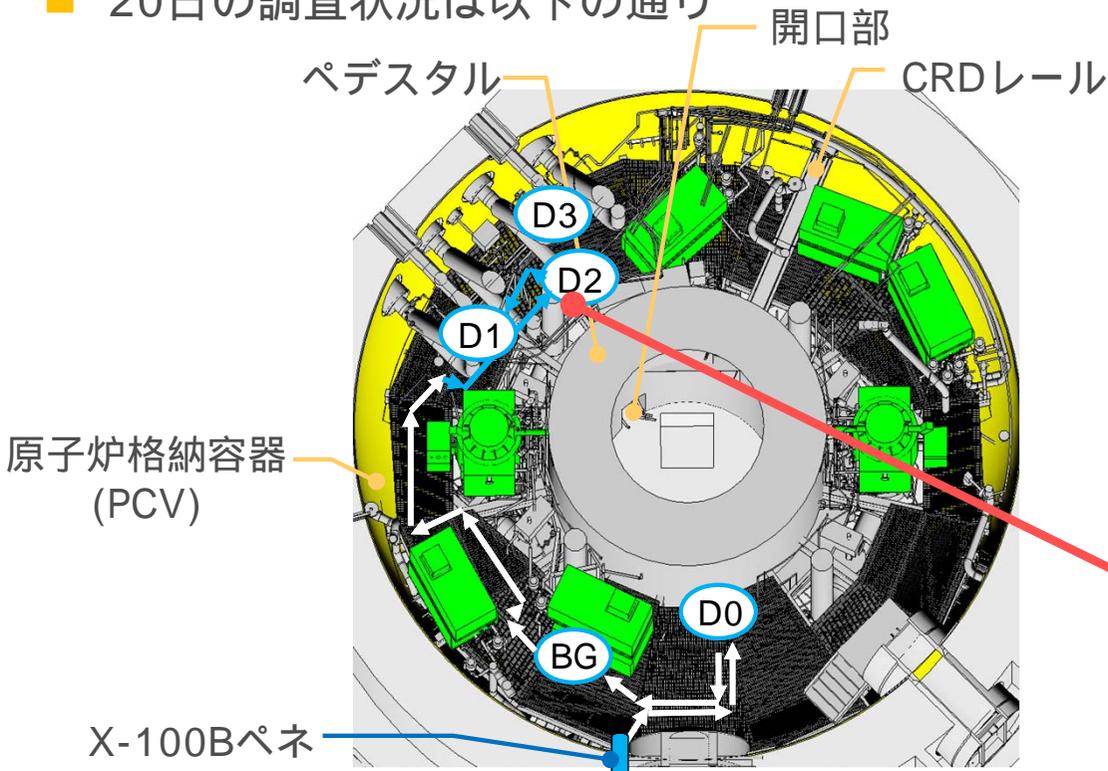
- ・グレーチング上：3.8Sv/h
- ・最下点：11Sv/h  
(PCV床面より約0.3m上\*)

画像データ及び線量データを整理した後に、PCV底部の状況を評価予定

\*：PCV床面からの高さは今後精査予定

# 2.1号機 PCV内部調査進捗（20日調査速報） 1/3

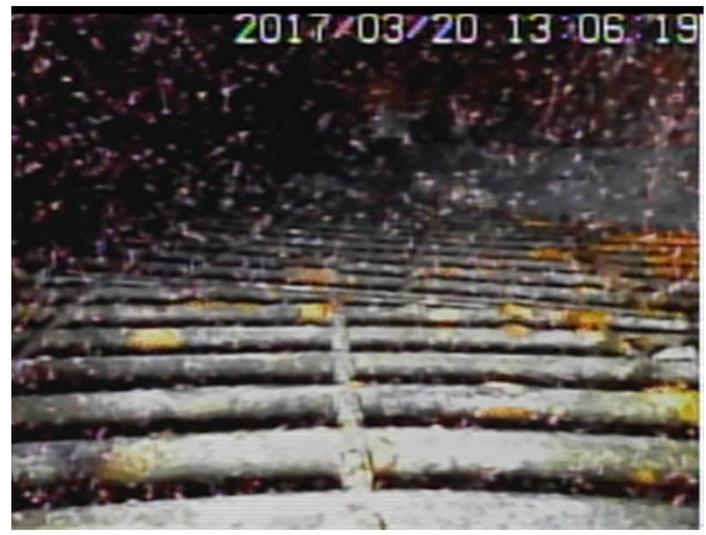
■ 20日の調査状況は以下の通り



1階PCV断面図

→ 20日のアクセスルート

測定点	調査内容
D0	ドレンサンプルからの燃料デブリの拡散有無の推定
D1, D2	開口部からの燃料デブリの拡散有無の推定
D3	PCVシェルに燃料デブリが到達している可能性があるかの推定
BG	D0～D3の測定に対するバックグラウンドレベルの把握



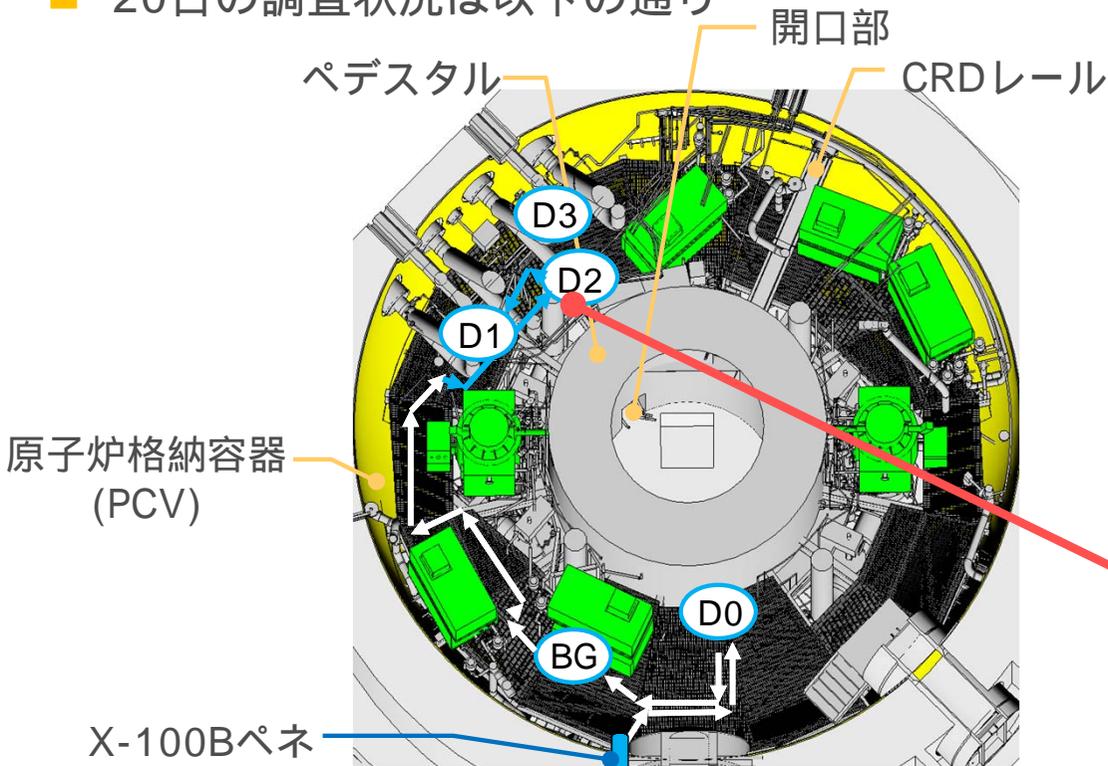
グレーチング上（調査装置 正面左側カメラ画像）



計測ユニットカメラ 水中投入直前

# 2.1号機 PCV内部調査進捗 (20日調査速報) 2/3

■ 20日の調査状況は以下の通り



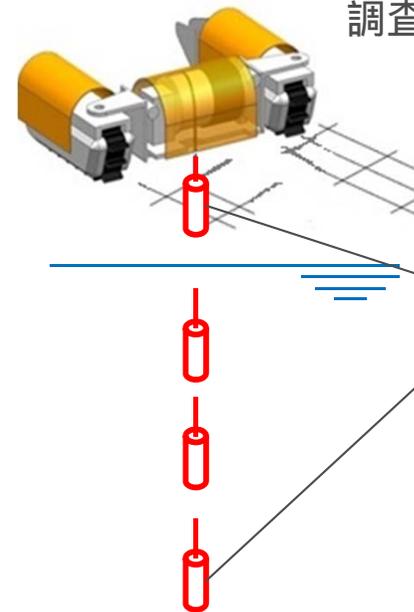
1階PCV断面図

→ 20日のアクセスルート

測定点	調査内容
D0	ドレンサンプルからの燃料デブリの拡散有無の推定
D1, D2	開口部からの燃料デブリの拡散有無の推定
D3	PCVシェルに燃料デブリが到達している可能性があるかの推定
BG	D0 ~ D3の測定に対するバックグラウンドレベルの把握



調査点D2水中画像



測定イメージ

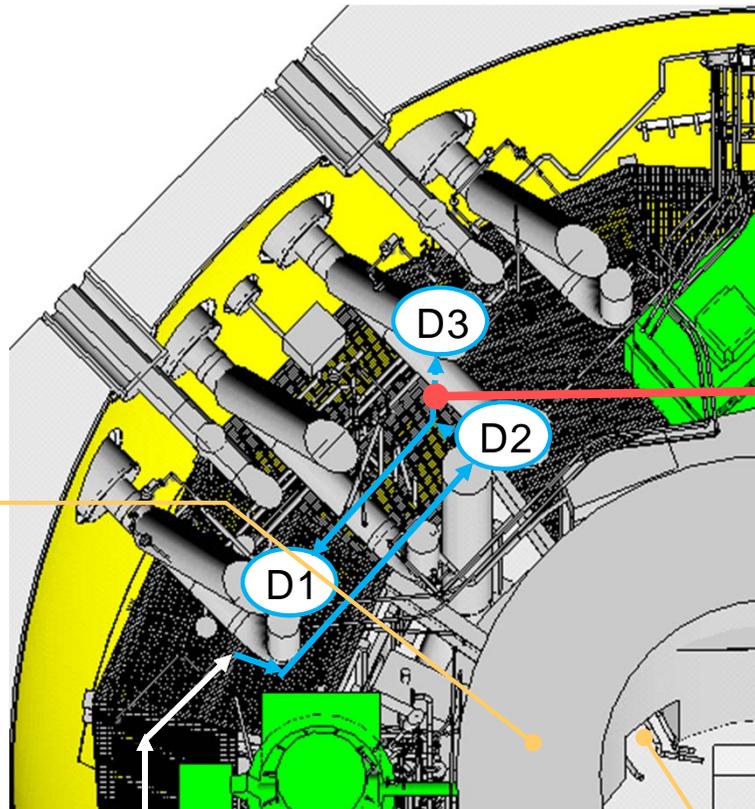
調査点D2の線量  
(暫定値)

- ・グレーチング上 : 12Sv/h
- ・最下点 : 6.3Sv/h  
(PCV床面より約1m上\*)

画像データ及び線量データを整理した後に、PCV底部の状況を評価予定

\* : PCV床面からの高さは今後精査予定

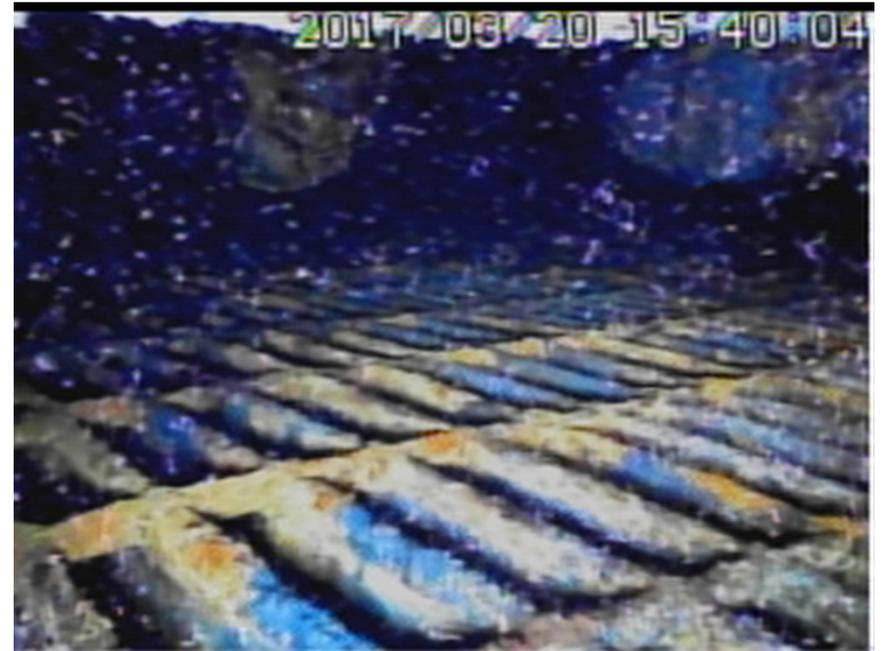
- D2からD3へのアクセスルートが狭隘であり，通過できないリスクがあったことから，3/20はD1ポイントへ移動した
- 3/21は開口部に近いD3を優先し，D3へ移動後に調査し，その後D1に戻って調査を行う



1階PCV断面図

→ 20日のアクセスルート

開口部

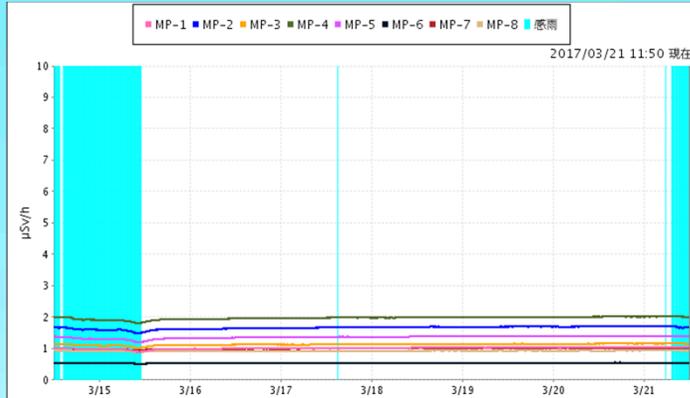


調査点D2からD3への移動を試みた際の画像  
(調査装置 正面左側カメラ画像)

### 3. 環境への影響について (1/3)

- 原子炉格納容器のコンクリートや鉄といった遮へいにより放射線は低減されており、**周囲への放射線影響は発生していません。**

作業前後でモニタリングポストの値に変化はありません。



モニタリングポスト

原子炉格納容器 (PCV)

X-100Bペネ

約1.7m

グレーチング

約2.6m

約7.6m

調査箇所

- 格納容器底部には、厚い原子炉建屋の鉄筋コンクリートがあります。

### 3. 環境への影響について (2/3)

- 調査では、線量計の測定結果として12Sv/h (※) が測定されていますが、格納容器内の滞留水、格納容器のコンクリートや鉄といった遮へいにより放射線は低減されており、**周囲への放射線影響は発生していません。**
- ※2015年4月にグレーチング上で測定された線量率は4.7~9.7Sv/hであり、ほぼ同等の値
- 調査においては**格納容器内の気体が外部へ漏れないようバウンダリを構築して作業を実施中です。**
- **作業前後でモニタリングポスト/ダストモニタのデータに有意な変動はありません。**
- **敷地境界付近のモニタリングポスト/ダストモニタのデータはホームページで公表中です。**

参考URL : <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.html>

<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/dustmonitor/index-j.html>

既設モニタリングポストデータ

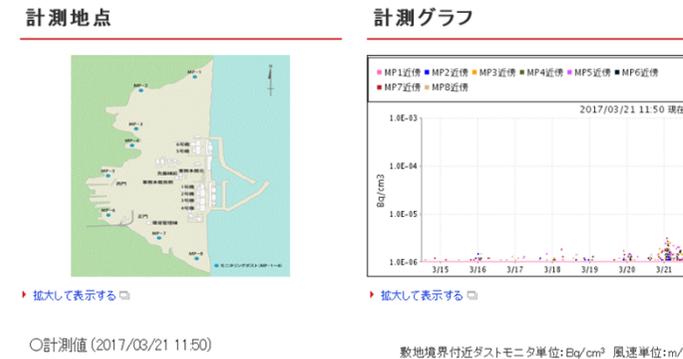


(2017年3月21日11:30時点 : 約0.5~2 μSv/h)

\* 原子炉格納容器内部以外からの線量寄与も含めた線量

福島第一原子力発電所敷地境界付近でのダストモニタ計測状況

福島第一原子力発電所の敷地境界にあるモニタリングポスト(MP-1~MP-8)近傍において測定している、空気中の放射性物質濃度の測定結果をお知らせいたします。



(2017年3月21日11:50時点 : 1.0E-06Bq/cm³)

### 3. 環境への影響について (3/3)

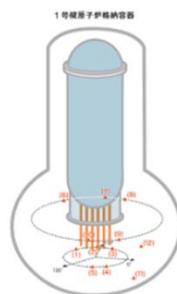
- 格納容器内で今まで調査出来ていなかった箇所を、事故後初めて調査出来るようになったということであり、新たな事象が発生したということではありません。
- 調査中のプラントパラメータについても常時監視しており、作業前後で格納容器温度に有意な変動はなく、冷温停止状態に変わりはありません。
- 原子炉格納容器内温度のデータはホームページで公表中です。

参考URL : [http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/plantdata/unit1/pcv\\_index-j.html](http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/plantdata/unit1/pcv_index-j.html)

#### 福島第一原子力発電所1号機 原子炉格納容器内温度計測状況

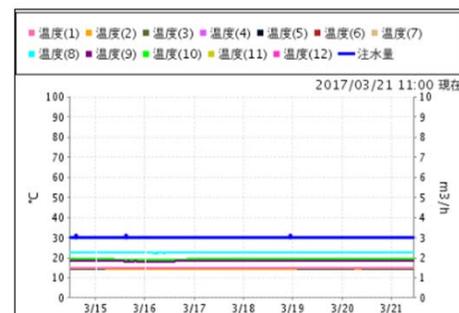
福島第一原子力発電所1号機の原子炉格納容器内温度の測定結果をお知らせいたします。

##### 計測地点



▶ 拡大して表示する

##### 計測グラフ



▶ 拡大して表示する

○計測値 (2017/03/21 11:00)

温度単位:°C、注水量単位:m³/h

設備の調整等により、データが表示されない時間帯が発生しています。

温度(1)	温度(2)	温度(3)	温度(4)	温度(5)	温度(6)	温度(7)
15.0	14.7	14.6	14.7	14.7	14.5	14.6
温度(8)	温度(9)	温度(10)	温度(11)	温度(12)	注水量	
22.8	18.6	19.4	-	-	3.0	

(2017年3月21日11:00時点 : 約14~23°C)